

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川浩司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成25年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,284	25.5	60	—	61	—	36	—
25年3月期第1四半期	1,023	△17.0	4	△84.6	5	△81.2	2	△85.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6.64	—
25年3月期第1四半期	0.42	—

(注) 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,605	3,039	54.2
25年3月期	5,242	3,041	58.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,039百万円 25年3月期 3,041百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	900.00	900.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成26年3月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割後の1株当たり配当額を記載しております。

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,970	41.2	105	—	107	—	63	—	11.56
通期	5,414	1.0	201	4.7	204	2.0	120	0.0	22.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	5,500,000 株	25年3月期	5,500,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	51,100 株	25年3月期	51,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	5,448,900 株	25年3月期1Q	5,448,900 株

(注) 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした新政権の経済政策等への期待感から、円安・株高基調で推移し、輸出関連企業を中心に景気回復感が緩やかに高まってきております。一方、原油価格や電気料金の値上げ、原材料価格の高騰、また欧州における債務問題や新興国の経済成長の減速傾向等、国内外の懸念材料によって、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと当社では、前事業年度より引き続き自動車部品製造企業向けのF A装置等の売上高が堅調に推移し、またフラットパネルディスプレイ（以下、「F P D」という。）業界向けの設備投資案件として、カスタムクリーンブースやアルファフレームシステムの受注が復調傾向となったことにより、生産状況が活発に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1,284百万円（前年同期比25.5%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は60百万円（前年同期は4百万円の営業利益）、経常利益は61百万円（前年同期は5百万円の経常利益）、四半期純利益は36百万円（前年同期は2百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、アルファフレームシステムの拡販ツールである「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。その結果、顧客からの引合いが増加傾向となり、またF P D業界に関しても大口顧客よりアルファフレームシステムを受注するなど、好調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は690百万円（前年同期比88.5%増）となりました。

#### [装置部門]

装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いF A装置（F A：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）の提案活動を推進いたしました。前事業年度に引き続き自動車部品製造企業向けのF A装置等の売上高が堅調に推移し、またF P Dに関連する製造設備が動き始めたことにより、クリーンブース等の構造物の売上高も伸長いたしました。

この結果、当部門の売上高は377百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

#### [商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の売上高が、前事業年度の下半期より伸び悩む状況となりました。さらに、好調であった機械部品、自動車部品製造関連企業からの生産機械設備の受注に一服感があり、その他の取引先各企業からの受注も低調な状況で推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は216百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ363百万円増加し5,605百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が352百万円、原材料及び貯蔵品が36百万円、それぞれ増加した一方で、仕掛品が38百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ365百万円増加し2,565百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が287百万円、未払法人税等が22百万円、それぞれ増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ2百万円減少し3,039百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上があったものの、配当金の支払いが発生したことにより、利益剰余金が12百万円減少したことなどによります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ1百万円減少し、671百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の123百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は68百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、税引前四半期純利益61百万円の計上、賞与引当金の増加による資金の増加額21百万円、仕入債務の増加による資金の増加額287百万円や未払消費税等の増加による資金の増加額34百万円などの資金の増加があった一方で、売上債権の増加による資金の減少額352百万円などの資金の減少があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の18百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は25百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が12百万円、無形固定資産の取得による支出が5百万円、保険積立金の増加による支出が5百万円それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の58百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は44百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払いによる支出であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	672,900	671,532
受取手形及び売掛金	2,288,496	2,641,121
商品及び製品	141,666	143,465
仕掛品	147,161	108,492
原材料及び貯蔵品	249,296	285,757
その他	62,323	57,839
貸倒引当金	△221	△234
流動資産合計	3,561,623	3,907,975
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,444,256	1,444,256
減価償却累計額	△916,626	△924,817
建物（純額）	527,630	519,439
土地	456,904	456,904
その他	652,732	664,736
減価償却累計額	△479,989	△489,851
その他（純額）	172,743	174,884
有形固定資産合計	1,157,278	1,151,228
無形固定資産	10,828	15,290
投資その他の資産		
その他	514,050	532,683
貸倒引当金	△1,650	△1,650
投資その他の資産合計	512,400	531,033
固定資産合計	1,680,507	1,697,552
資産合計	5,242,130	5,605,527
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,861,129	2,148,755
未払法人税等	14,002	36,875
賞与引当金	42,894	64,214
その他	97,046	132,252
流動負債合計	2,015,072	2,382,096
固定負債		
退職給付引当金	141,632	143,521
その他	43,569	40,181
固定負債合計	185,202	183,703
負債合計	2,200,274	2,565,800

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,725,410	2,712,567
自己株式	△34,410	△34,410
株主資本合計	2,993,199	2,980,357
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,656	59,370
評価・換算差額等合計	48,656	59,370
純資産合計	3,041,855	3,039,727
負債純資産合計	5,242,130	5,605,527

（2）四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
売上高	1,023,653	1,284,608
売上原価	810,649	1,002,134
売上総利益	213,004	282,474
販売費及び一般管理費	208,899	222,462
営業利益	4,104	60,012
営業外収益		
仕入割引	723	951
その他	395	749
営業外収益合計	1,119	1,700
営業外費用		
売上割引	29	4
営業外費用合計	29	4
経常利益	5,194	61,708
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税引前四半期純利益	5,194	61,708
法人税、住民税及び事業税	987	36,899
法人税等調整額	1,915	△11,388
法人税等合計	2,902	25,511
四半期純利益	2,291	36,197

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	5,194	61,708
減価償却費	20,086	19,594
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△20	12
賞与引当金の増減額（△は減少）	18,565	21,319
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1,501	1,889
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△3,364	1,082
受取利息及び受取配当金	△148	△226
売上債権の増減額（△は増加）	200,196	△352,686
たな卸資産の増減額（△は増加）	△88,592	408
仕入債務の増減額（△は減少）	△75,914	287,625
未払消費税等の増減額（△は減少）	△55,167	34,761
その他	△31,182	6,353
小計	△11,849	81,841
利息及び配当金の受取額	89	94
法人税等の支払額	△111,900	△13,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,660	68,419
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,896	△12,419
無形固定資産の取得による支出	△3,500	△5,582
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
保険積立金の積立による支出	△5,754	△5,754
その他	△421	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,771	△25,028
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△58,829	△44,758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,829	△44,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△201,261	△1,368
現金及び現金同等物の期首残高	1,059,305	672,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	858,043	671,532

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	696,195	187.0
装置部門	377,938	110.6
合計	1,074,133	150.4

（注）上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ② 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高（千円）	前年同四半期比（%）
商事部門	工業用砥石	35,957	84.1
	機械設備	55,262	43.1
	工具・ツール・油脂類	95,667	93.6
合計		186,887	68.4

（注）上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ③ 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	580,836	207.1	204,985	364.1
装置部門	597,458	220.8	321,670	160.8
商事部門	269,230	102.8	142,201	53.4
合計	1,447,526	178.1	668,857	127.9

（注）上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ④ 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	690,374	188.5
装置部門	377,938	110.6
商事部門	216,296	68.5
合計	1,284,608	125.5

（注）1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第1四半期累計期間		
	販売高（千円）	割合（%）	前年同四半期比（%）
キヤノン株式会社	422,447	32.9	594.4
東レエンジニアリング株式会社	166,698	13.0	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。